特定非営利活動法人 会員 誌

ふれあいサポート館アトリエ



⇒E-mail fureainpo@gmail.com

⇒ホームページ

http://www.fureai-support.jp/



2:3月号

令和3年1月27日

■法 人 事 務 所・ア ト リ エ TEL 0244(36)5420 〒976-0042 相馬市中村字北町 1 - 8 FAX 0244(26)5424

●デイサービス友遊(北 町) TEL 0244 (26) 5424

TEL 0244 (36) 3582 ●デイサービス友遊(南飯渕)

●中央児童センター(ポニークラブ) TEL 0244 (35) 2008

●飯豊小放課後児童クラブ(ひまわりクラブ)TEL 0244(37)8870 ●日立木小放課後児童クラブ(めだかクラブ)TEL 0244(35)3400

●磯部小放課後児童クラブ(げんきクラブ) TEL 0244(32)1787

●八幡小放課後児童クラブ(なのはなクラブ)TEL 0244(26)9011

●相馬こどものみんなの家 TEL 0244 (35) 4700

令和2年度も、保護者の皆様はじめ多くの方々のご支援をいただき、前年度にもまして活動することができました。 数値では表せない私共の活動を温かく見守り、大きな成果を生み出せる環境をいただき、心より感謝申し上げます。 昨年は、新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年でした。原発事故も3月で10年、一昨年の台風の被害も完全に復旧しないのに、 忘れたころにやってくるといわれる災難もまだ忘れられないうちに、目に見えないウイルスが世界中に蔓延。不安が募ります。 そうこうしているうちに、今年度の絵画造形きょうしつの活動も、締めくくり・まとめの時期になりました。 立春を過ぎてもまだ寒さが続く例年。温かい春が来るのを イキイキ キラキラ いい笑顔 で迎えましょう。

第95回修了制作展『こどものえてんらんかい』第55回修了式・レセプションは、わくわくランドにて行います。











幼稚園勉強風景

小学生勉強風景

6年生・中学生の特別授業

味噌つくり

おまもりの鈴つくり

12・1月のかいがぞうけいきょうしつでは…

合同: じぶんのかお・アルバムのえ・ちいさなえ

今年度一年間の成長の記録の一つとして、アルバム制作を 毎年行なっております。子ども時代の思い出に残る絵と自筆 のサイン、ボールペンで描いた小さな絵を編集します。

合同: どうぶつのえ ミルキー

皆が大好きなミルキーちゃんを主人公にえを描きました。 回りにはそれぞれお気に入りの動物を描いて完成です。 かわいいえにしあがりましたね。

合同:こうじ・みそつくり

デイサービスのおじいちゃん・おばあちゃんに手ほどきを 受け寒仕込みの糀とみそを作りました。粘土遊びみたいで おもしろかったです。100キロのみそを仕込みました。

合同: 陶芸教室・おまもりのすずつくり

テラコッタ粘土を使って、お守りの鈴を作りました。 心を込めておもいおもいの形を作り、仕上げました。 2~3週間乾燥し、焼き上げます。お楽しみに・・・

6年生: 卒業制作・自画像制作

6年生3名は、12月より自画像の卒業制作に入りました。 水と金曜コース合同で、北町のギャラリーで倉本先生の特別 指導を受け制作しています。観察力・描写力共に優れ指導し ている倉本先生もやりがいのある時間になっているよう・・・

中学生とも合同授業なので、更に刺激になり 意欲的に頑張っている姿は、とっても大人の顔です。

2・3月の事務連絡&活動予定

<2月のご請求>・月会費に加えてパネル額装代2500円

<3月のご請求>・月会費に加えて個人使用分絵具代

※郵便局の自振請求がシステム変更のため 新たに申込みが必要になり申込書をお渡ししました。 2月12日までに提出お願いします。

おたのしみかい

北町アトリエ 3月11日(水) 南飯渕アトリエ 3月13日(金) ※教室の最終日に行います。

第95回 修了制作展『こどものえてんらんかい』

3月19日(金) 20日(土・祝)10時~16時

第55回 修了式・レセプション

3月20日(土・祝) 15時から16時 ※詳細は後日、別紙にてご案内いたします。

●代替勉強日のお知らせ

何らかの理由で、お休みした方の代替勉強日を行います。 出席する場合は、前日までに必ずご連絡ください。

● 日時:3月6日(土) PM3時30分~PM5時

● 場所:北町アトリエ

●6年生・中学生の特別授業のお知らせ

● 日時:3月6日・13日(†) PM1時~PM6時

北風と太陽 ― まり子編

お正月を迎えたかと思ったら一月もあっという間に過ぎてしまいまし た。間もなく立春を迎えますが、まだ寒さ厳しい毎日が続きます。

イソップの「北風と太陽」の物語で、旅人のマントを脱がせたのは太陽 だったように、子供の心を開かせ、子供の持つ能力を引き出す太陽になる のも母親の役割。母親は、太陽でありたい、あって欲しいと願います。そ して、北風の一生懸命さも太陽の温もりも、子育て中のお母さんを映して いるようです。

しかし、子育て最中の自分を振り返ってみると、やらなければならない 事が目いっぱいで余裕がなく、自分を冷静に見つめるって大変な事。母親 していられたのは、家族や回りの人達の支えがあってこそと、感謝です。

近年、子供が犠牲になったあまりにも痛ましい事件に胸が痛みます。幼 い子供がマンションに置き去りにされ亡くなった事件、親から暴力を受け 亡くなった事件など。幼い無抵抗な命を踏み潰した行為は許されません。 あどけなく可愛い孫やひ孫達を見ていると、他人事とは思えず大変悲しく 憤りさえ感じます。

北風の吹く寒い日がまだ続きますが、暖かい太陽(お母さん)が子供たち の心を開きますように・・・暖かく見守れる余裕を持てますよう・・・ア トリエには、お母さん達を応援したい見守り隊がいますので、ご一報くだ さいね。私達の活動が、一人にでもいいから受け止めていただけたら・・・ 嬉しく思う。と思っていたことが、元教室生で元リーダーの陽子ちゃんが キャッチ。ご寄稿をご紹介します。

(スタッフ 倉本まり子)

北風と太陽 一 陽子編

ずいぶん昔、私も絵画教室に通う一人の子どもだった。教室へ通ってい た頃、まりこ先生の口から良く「北風と太陽」のお話しを聞いた。その後 も会員誌などでこのお話を目にすることが良くあり、その時は一つのお話 としてしか思っていなかったけれどなんとなくずーっと心に残るものだ った。いつしか私も母親になり自分なりの子育てを考えたときに、呪文の ようにまり子先生から聞いていた「北風と太陽」のお話が、自分の中で馴 染み、それを何気なく目指していることに気が付いた。

子どもたちの前ではできるだけ笑い、微笑み、「大丈夫!」と言ってい たい。冷たく吹きすさぶ北風のように無理やりに一方的にではなく、ぽか ぽかお日様の暖かさで、子どもたちを見守っていきたいと思う。(時折北 風が必要なときもあるけれど。)

私たちは基本、経験したことでしか物事をはかれない。自分が感じたこ とのある感情でしか、人に気持を返したり、相手を思いやったりできない のではないだろうか。ならば、これから子どもたちに何を経験させていけ ばいいのか(させていきたいのか)、何を感じさせていくのか (感じさせた いのか)を、日々考える。これから心も体も成長していく子どもたちを満 たしていくものが、親の愛情であったり、笑顔、安心感、心揺さぶる感動、 そして思いやりであり、いろんなことにチャレンジしていく気持ち、そし て沢山の経験であってほしいと願う。そのために、私は自分自身の経験値 を振り返り、何を感じてきたのかを思い起こしながら、子どもたちと向き 合っていこうと思う。そして、ぽかぽかといつまでも暖かな笑顔をおくり 続けたい。 (元教室生・元リーダー 現在2児のママ 廣瀬陽子)

陶芸教室 2学期はお皿作り 3学期はお守りの鈴作り

美術教育専攻で広く浅く学んだ学生時代から陶芸の面白さが頭 から離れなかったが、相馬絵画研究所創立30周年記念で窯を購 入。友遊窯と命名しあれから25年間、アトリエのみなさんはじめ 大人の陶芸教室、地域や学校の親子学年行事、保育園・幼稚園のお 友だち、放課後児童クラブのお友だち、デイサービスのおじいちゃ ん・おばあちゃん、他、

大勢の方々に陶芸の面白さを味わっていただきました。

今年度のかいがぞうけいきょうしつの皆さんの力作をご覧ください。

ガラス片入りお皿

友遊窯は一度に120枚のお皿が焼けます。





お守りの鈴 コロナ禍が早くおさまりますように・・・ おもいおもいの



今、子供達に何が必要か・・・ **イキイキ キラキラ みんないい顔** してますか。

今年度は、コロナ禍で、新学期が9月でしたが、5か月が過ぎ いろいろな制約の中でも、アトリエの中では1時間半の時間が足りないくら い、行動的に活動できた子ども達でした。

今年度入会したお友だちは毎回の教室を楽しみに「きょうは、なにする の・・・?」と、目をキラキラ輝かせ聞いてくる姿は、なんと可愛らしく嬉 しくなってきます。継続のお友だちも成長した姿が見られ、毎回、興味と好 奇心で目がキラキラ輝き、意欲的に取り込んでおります。

それぞれの持つ能力を十分発揮させ、成功体験を一つひとつ増やし、子ど も達のやる気を高めていきたいと思います。

「目に入れても痛くない」と言われるほどかわいい子供たちの幸せを願う のは世の親誰しもが思っているはず。子育ての間違えから親も子も不幸にな ってしまったのでは元も子もありません。子どもの健やかな成長は、私達親 に委ねられています。バランスの取れた子育てをするために、もう一度立ち 止まり自身の子育てを振り返り見つめ直してみましょう。

確かな社会適応能力を身に着けた社会人としておくりだすために、今親は なにをすべきなのかを・・・子ども達の イキイキ キラキラ 健康的な顔 をみるだけでも親は イキイキ キラキラできるはず。

みんながいい顔で過ごせますように願う毎日です

